発行日: 2018年4月　第24号

PCP

PCP研究会
Newsletter
No. 24

Advance

~精神科薬剤師のさらなる進化への挑戦~

発行:PCP研究会広報委員会

巻頭言

平成30年度診療報酬改定を終えて

今回の改定は診療・介護報酬同時改定であるため、限られた財源と現在の社会情勢を考慮すれば、当然介護が優先となり病院薬剤師に関係する項目については大きく変わる事は無いだろうと私は悲観的に考えていたし、私と同じような考えを持っていた人も周囲には多かった。しかし、いざふたが開いて改定項目が明らかになると、日本病院薬剤師会（以下、日病薬）から提出された「重点要望事項」のほとんどが認められるという結果であった。これには、毎年実施される日病薬の現状調査結果や学会発表や論文発表に基づくエビデンスが大きく影響したといわれている。皆さんの協力と努力による実績とエビデンスの影響が年々大きくなっていることを特に強く感じた改定であった。

さて、今回の診療報酬改定における、キーワードは「地域連携」「チーム医療」「薬剤師外来」であった。特にチーム医療に関する項目の中に「薬剤師」が明記されている箇所を多く見かけ、精神科領域においても、新設された「向精神薬調整連携加算」の算定要件の中に薬剤師の関与が明記されている。これは、チーム医療における薬剤師の役割の重要性が認められたのと同時に薬剤師に対する次への期待の大きさの表れではないだろうか。今回作られたこの流れは、皆さんのたゆまない地道な努力がある限りまだしばらく続くであろう。しかしながら、我々精神科薬剤師が自ら歩み出て今後の方向性を見極め、苦しい現状を嘆くだけでなくそれを打破し、新たな業務展開をはじめなければ、やがて流れは澱み、精神科のみチーム医療から取り残され、初めに私が危惧した通りに診療報酬は他人事となってしまうだろう。最後になるが今此処で皆さんに伝えたい言葉は古い言葉ではあるがたった一言・・・Let's Beginである。

副代表世話人　天正 雅美

2017年度全国処方調査中間報告

昨年10/31に実施した処方調査では、全国より、多くの貴重なデータをご提供頂きました。業務繁多にもかかわらず調査にご協力頂きました先生方、本当にありがとうございました。

【 調査背景 】

	参加施設数	データ数	平均年齢
入　院	90施設	12,665 症例	59.2歳
外　来	68施設	2,348 症例	51.8歳

【 集計結果 】

入　院	平均処方剤数	平均投与量 ± 標準偏差	単剤処方率
抗精神病薬	**1.7±1.0剤**	**722.0±763.3mg（CP換算）**	**40.3%**
抗パーキンソン薬	0.5±0.6剤	1.2±1.8mg（BP換算）	
抗不安薬・睡眠薬	1.1±1.0剤	9.9±16.6mg（DAP換算）	

外　来	平均処方剤数	平均投与量 ± 標準偏差	単剤処方率
抗精神病薬	**1.5±0.7剤**	**553.6±466.7mg（CP換算）**	**53.2%**
抗パーキンソン薬	0.5±0.6剤	1.2±1.8mg（BP換算）	
抗不安薬・睡眠薬	1.2±1.1剤	10.0±14.4mg（DAP換算）	

【 発表予定 】

本年9/15・16、名古屋で開催される第2回日本精神薬学会学術集会において、2演題発表いたします。多くの先生方にご参加いただき、活発にご討議いただければと思います。

【 次年度の新調査項目 】

当該患者の入退院状況を把握するため、「1年間の入院回数」を新たな調査項目とします。

東海ブロック世話人　宇野 準二

2017年度下期の活動状況

テーマ「双極性障害・うつ病」

先生方のお名前は敬称略で記載させて頂いております。

ブロック	開催地	開催日	特別講演	ワークショップ/症例検討	追加プログラム 病院紹介/ショートレクチャー	参加人数
北海道	札幌	10月28日	大谷地病院 小山　司	中江病院 仲唐　安哉	さっぽろ駅前クリニック 横山　太範	28
東北	盛岡	12月17日	協和病院 善本　正樹	協和病院 善本　正樹	千歳篠田病院 小林　聖子 湊病院 小笠原　久美子	41
関東・甲信越	東京	3月11日	帝京大学 張　賢徳 横浜舞岡病院 鈴木　玲子	湘南東部総合病院 鈴木　徹士 相模湖病院 竹村　泰隆	–	45
	大宮	3月18日	埼玉精神神経センター 山下　博栄	栗田病院 鈴木　弘道	レモン薬局 長崎　正晃 高田西城病院 山口　毅	42
	千葉	1月28日	木村病院 渡邉　博幸	木村病院 渡邉　博幸	–	22
東海	名古屋	3月11日	各務原病院 天野　雄平	各務原病院 天野　雄平 服部病院 松井　美由紀	三重大学医学部附属病院 佐々木　典子	29
北陸	金沢	3月 4日	Jクリニック 武島　稔 箔山堂高松薬局 大岸　直也	福井医療大学 小俣　直人	–	33
近畿	大阪	2月25日	近畿大学医学部 白川　治	キタオオジゆう薬局 濵野　健太郎 もみじケ丘病院 辻本　千代美	宇治おうばく病院 三浦　彰久	62
中国・四国	岡山	3月 4日	はまむらクリニック 濱村　貴史	はまむらクリニック 濱村　貴史 岡山県精神科医療センター 馬場　大樹	肥後薬局 肥後　哲朗	20
	徳島	2月25日	徳島大学大学院 大森　哲郎 藍里病院 吉田　精次	徳島大学大学院 富永　武男 徳島大学大学院 渡部　真也	–	18
九州	福岡	3月 4日	八代更生病院 阿部　恭久	うえむらメンタルサポート診療所 上村　敬一	㈱ファーマダイワ 河野　陽介 うえむらメンタルサポート診療所 上村　敬一	82
	沖縄	3月11日	あかりクリニック 中村　明文	ぎのわんメンタルクリニック 道下　聡	琉球病院 雪竹　英志	15

会費納入についてのご案内

年会費ご納入は年度の始まりに郵送する払込用紙でのお振込みをお願いいたします。
講演会場でご納付される場合は、事務手数料として300円を徴収いたします。
ご負担をお掛けいたしますがご理解の程お願いいたします。

①振込用紙を使用する場合

窓口：130円、ATM：80円

※同じ手数料で、同施設16名までの一括振込が可能です。

②講演会場受付にて新規ご入会または

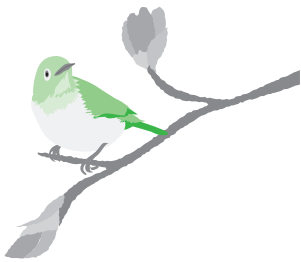
ご納付される場合

事務手数料として300円を徴収

なお、非会員の当日参加の場合は手数料を戴きません。
また、社会人を除く学生は会費不要です。

年会費ご納付お忘れの無いよう、よろしくお願いいたします。

（事務局）



第2回日本精神薬学会総会・学術集会

「基礎と臨床知識から薬を使い育てる精神科薬剤師：多職種との相互理解を深める」

平成30(2018)年9月15日(土)～16日(日)に、名城大学八事キャンパス薬学部で「第2回 日本精神薬学会総会・学術集会」を開催します。臨床・基礎・社会医学の領域で活躍する専門家を招聘して討論し、精神科薬剤師の職能発展と精神科医療の向上、脳とこころに関する研究・臨床・教育の最前線、他の職種や地域の薬剤師との協働など、様々な意味での「相互理解」と「連携」に期待を込めています。意義ある会となりますよう準備を進めておりますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

期 日：2018年9月15日(土)～16日(日)
会 場：名城大学八事キャンパス薬学部
〒468-8503 名古屋市天白区八事山150
会 長：野田 幸裕(名城大学薬学部 病態解析学Ⅰ)
URL：http://k-con.co.jp/jspp2018nagoya/
主 催：一般社団法人　日本精神薬学会

※日本薬剤師研修センター、日病薬病院薬学認定薬剤師、日本病院薬剤師会精神科薬物療法認定薬剤師の認定薬剤師制度を予定

<プログラム：詳細はホームページをご覧ください>

○特別・教育講演　○シンポジウム　○ワークショップ
○ランチョンセミナー　○一般演題：口演、ポスター

【 参加費 】

正　会　員	事前 8,000円	当日10,000円
非　会　員	事前12,000円	当日15,000円
学 生 会 員	事前 3,000円	当日 5,000円
学生非会員	事前 8,000円	当日10,000円
懇　親　会	6,000円	

【 問い合わせ 】 第2回日本精神薬学会総会・学術集会　事務局　名城大学薬学部病態解析学Ⅰ　吉見　陽
〒468-8503　名古屋市天白区八事山150
TEL：052-741-6022　FAX：052-741-6023
E-mail：jspp2018-office@umin.ac.jp

副代表世話人　野田 幸裕

みんなねっと岡山大会「お薬相談」報告

昨年の10月19日(終日)・20日(午前中)、岡山県倉敷市でみんなねっと岡山大会が開催され、会員の笹岡健二薬剤師(岡山県精神科医療センター)とお薬相談を担当させていただきました。二日間で30件ほどの相談がありましたが、みんなねっとは家族の会ということもあり、相談件数のおよそ半分はご家族の方からでした。私は2011年の香川大会に引き続き二回目となりましたが、毎回感じることは、当事者は勿論のこと、ご家族の苦悩です。詳しくは書き切れませんが、薬の量のことや減量のこと、作用・副作用のこと、これからのこと、様々な相談がありました。また、会話の中で、ご家族の方から「CP換算で××mgだから・・・」と話してこられる方もおられ、よく勉強されている方もいらっしゃいました。たった一度のご縁でも、相談に来てくださった方のお役に立てるよう、日々精進しなければならないと気持ちを新たにした二日間となりました。

中国・四国ブロック世話人　北川 航平

東北ブロックの紹介

東北ブロック講演会は、仙台(宮城県)と盛岡(岩手県)の2会場で、年に2回実施しています。当初は東北6県からアクセスし易いよう、同じプログラムを仙台と盛岡で(上期と下期で年4回)行っていましたが、実施するスタッフの負担や講師の問題もあり、現在のような開催スタイルにしました。参加人数が減るのでは？という懸念がありましたが、東北の絆は強く、他の大都市での開催に匹敵する参加人数となっています。特にグループワークは人気があり、毎回笑いと拍手で盛り上がります。仙台の牛タンと盛岡冷麺が名物です。

東北ブロック世話人　黒沢 雅広

2018年度上期ブロック講演会開催（予定）のご案内

テーマ「抗精神病薬の薬理作用から副作用を考える」

ブロック	場　所	開催日	会　場
北海道	札　幌	7月　8日（日）	大塚製薬　札幌支店
東　北	仙　台	6月10日（日）	アゼリアヒルズ17F アゼリアホール
関東・甲信越	東　京	9月　9日（日）	フクラシア東京（予定）
	千　葉	7月　8日（日）	大塚製薬　千葉支店
	大　宮	7月1日（日）・7月29日（日）	TKP大宮駅西口カンファレンスセンター
東　海	名古屋	7月　1日（日）	ウィンクあいち
北　陸	金　沢	8月　5日（日）	石川県地場産業振興センター
近　畿	大　阪	7月29日（日）	大阪マーチャンダイズマート
中国・四国	広　島	9月23日（日）・9月30日（日）	ホテルチューリッヒ東方2001
	松　山	9月　9日（日）	松山市総合コミュニティセンター
九　州	福　岡	8月　5日（日）	福岡国際会議場
	沖　縄	8月26日（日）・9月9日（日）	カルチャーリゾート　フェストーネ

※開催日および会場は、都合により変更となる場合がありますので、詳細はPCP研究会ホームページの活動状況欄をご覧ください。

事務局掲示板

■2018年度会費（2018年4月～ 2019年3月分、年会費：3000円）

年会費のお支払いは、ご出席の講演会開催前までにお振り込みにてお願いいたします。

【郵便局】 口座名：精神科臨床薬学研究会　　口座番号：00170-2-578959

＊通信欄に、必ずご施設名、お名前、会員番号をご記入ください。
（会員番号が不明な方は、メールで事務局（contact@pcp-rg.org）へお問合せください。）

■講演会プログラム

講演会開催日1ヶ月前を目処に各講演会プログラムをホームページ<www.pcp-rg.org>に掲載しております。

■特別講演DVD「双極性障害・うつ病の病態と治療」

2017年度下期講演会を欠席された会員の皆さまにDVDを貸出しております。希望される方は事務局までご連絡ください。バックナンバー（演題はホームページに掲載）の貸出しも受け付けております。

■事務局連絡先

〒103-0025　東京都中央区日本橋茅場町2−4−5 茅場町2丁目ビル8階
株式会社ネオファルマ 内
E-mail：contact@pcp-rg.org（メールには必ず、1.施設名、2.氏名を記載して下さい。）
FAX：03−5643−0113　URL：http://www.pcp-rg.org/

【編集後記】

日本選手の活躍に感動した平昌オリンピックも終わり、会員の皆様は2年に1度の診療報酬改定で忙しい日々を過ごされているかと思います。診療報酬改定が、自分達のためだけの改定ではなく、患者様のためになるように我々薬剤師も毎日の仕事に取り組んでいかなければなりません。新しい年度も適正な精神科薬物療法の推進に役立てるように頑張って行きましょう。
（Y.M）